



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月28日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 加地テック
コード番号 6391 URL <http://www.kajitech.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小林 士郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 新井 光司

TEL 072-361-0881

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,594	5.0	172	93.7	177	89.7	100	18.6
23年3月期第2四半期	2,471	8.9	89	△5.8	93	△6.2	84	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	5.93	—
23年3月期第2四半期	5.00	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	8,117		5,259		64.8	
23年3月期	7,802		5,262		67.4	

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 5,259百万円 23年3月期 5,262百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	6.00	6.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	14.6	500	0.8	500	△0.5	300	△6.8	17.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料4ページ「サマリー情報(その他)」に関する事項をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	17,180,000 株	23年3月期	17,180,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	255,145 株	23年3月期	254,880 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	16,924,893 株	23年3月期2Q	16,926,883 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出しており、実際の業績は今後様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期財務諸表等	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における日本経済は、本年3月に発生した東日本大震災により急速に悪化しましたが、サプライチェーンの復旧に伴い、国内の供給制約の問題がほぼ解消し、生産や輸出は概ね震災前の水準に回復しています。このため、悪化していた企業収益が回復するとともに、復興需要による押し上げもあり設備投資は増加しています。

また、個人消費は、自粛ムードが緩和する中、自動車の供給制約の解消や、夏場での地上デジタル放送への移行を控えたテレビの駆け込み需要、電力不足による節電特需などをから、景気の持ち直しの動きは継続しています。

しかしながら、世界経済において、米国での景気失速懸念や欧州での財政・金融不安、そして成長が続く中国での金融引締めの影響等により、その景気の回復ペースは鈍化しており、これに円高の進展もあり、輸出の伸び悩みによる低成長が予想されます。

このような状況の中、売上高は化学プラント用特殊ガス圧縮機関連の売上が伸びたことにより前年同期比5.0%増の2,594百万円となりました。売上総利益は、国内外の競合企業との競争が激化しているものの部品等の売上が増加したこともあり、前年同期比28.9%増の669百万円となりました。また、販売費及び一般管理費が研究開発費等の増加により前年同期比15.5%増の497百万円となったものの、上記売上総利益の増加を受け営業利益は前年同期比93.7%増の172百万円となり、経常利益は前年同期比89.7%増の177百万円となりました。四半期純利益は、前年同期において特別利益51百万円（貸倒引当金戻入額26百万円、投資有価証券売却益24百万円）があったことにより、前年同期比18.6%増の100百万円にとどまりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期会計期間の総資産は、8,117百万円で前事業年度に比べ314百万円増加しました。この主な要因は、売掛金の減少556百万円があったものの、仕掛品の増加224百万円及び預け金の増加600百万円があったことによります。

当第2四半期会計期間の負債は、2,858百万円で前事業年度に比べ317百万円増加しました。この主な要因は、設備関係支払手形の増加120百万円及びその他の流動負債の増加253百万円があったことによります。

当第2四半期会計期間の純資産は、5,259百万円で前事業年度に比べ2百万円減少しました。この主な要因は、四半期純利益が100百万円となったものの、配当金が101百万円あったことによります。

以上の結果、自己資本比率は64.8%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、3,276百万円で、前事業年度末に比べ607百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は668百万円であります(前年同期比603百万円減少)。この増加は主に、たな卸資産の増加額249百万円及び仕入債務の減少額203百万円があったものの、税引前四半期純利益177百万円及び売上債権の減少額973百万円によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、増加した資金は54百万円であります(前年同期比12百万円減少)。この増加は主に、有形固定資産の取得による支出30百万円があったものの、定期預金の払戻による収入85百万円によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は115百万円であります(前年同期比48百万円減少)。この減少は主に配当金の支払額100百万円によります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績見通しにつきましては、平成23年4月28日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

業績予想を見直す必要が生じた場合は適時に開示いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	654,086	576,452
受取手形	382,928	255,524
売掛金	1,710,794	1,154,447
製品	26,769	45,926
仕掛品	1,206,225	1,430,449
原材料及び貯蔵品	297,406	303,699
預け金	2,100,000	2,700,000
その他	257,705	365,941
貸倒引当金	△36,500	△24,500
流動資産合計	6,599,416	6,807,941
固定資産		
有形固定資産	873,587	968,076
無形固定資産	15,933	30,232
投資その他の資産		
その他	423,620	421,096
貸倒引当金	△109,722	△109,722
投資その他の資産合計	313,898	311,374
固定資産合計	1,203,418	1,309,682
資産合計	7,802,835	8,117,624
負債の部		
流動負債		
支払手形	879,542	731,589
買掛金	230,068	275,999
短期借入金	177,500	172,500
未払法人税等	72,980	83,251
賞与引当金	152,730	158,129
受注損失引当金	69,700	84,000
設備関係支払手形	3,658	124,102
その他	382,214	635,732
流動負債合計	1,968,394	2,265,305
固定負債		
退職給付引当金	499,387	519,022
役員退職慰労引当金	40,554	51,405
その他	32,415	22,377
固定負債合計	572,356	592,805
負債合計	2,540,751	2,858,111

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,440,000	1,440,000
資本剰余金	1,203,008	1,203,008
利益剰余金	2,660,459	2,659,288
自己株式	△42,745	△42,790
株主資本合計	5,260,722	5,259,506
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,352	6
繰延ヘッジ損益	8	—
評価・換算差額等合計	1,361	6
純資産合計	5,262,083	5,259,513
負債純資産合計	7,802,835	8,117,624

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	2,471,377	2,594,324
売上原価	1,951,467	1,924,328
売上総利益	519,909	669,996
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	137,687	135,572
賞与引当金繰入額	34,296	36,800
役員退職慰労引当金繰入額	7,028	20,840
貸倒引当金繰入額	—	△12,000
その他の販売費及び一般管理費	251,895	316,391
販売費及び一般管理費合計	430,907	497,604
営業利益	89,001	172,391
営業外収益		
受取利息	4,698	5,526
有価証券利息	962	—
その他	3,248	2,943
営業外収益合計	8,909	8,470
営業外費用		
支払利息	3,413	1,797
固定資産除却損	985	1,789
その他	188	194
営業外費用合計	4,587	3,781
経常利益	93,324	177,079
特別利益		
貸倒引当金戻入額	26,858	—
投資有価証券売却益	24,852	—
特別利益合計	51,710	—
税引前四半期純利益	145,035	177,079
法人税等	60,400	76,700
四半期純利益	84,635	100,379

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	145,035	177,079
減価償却費	41,987	64,074
退職給付引当金の増減額(△は減少)	19,176	19,635
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△10,956	10,850
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△26,858	△12,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	661	5,399
受注損失引当金の増減額(△は減少)	10,900	14,300
受取利息及び受取配当金	△5,013	△5,873
有価証券利息	△962	—
支払利息	3,413	1,797
固定資産除却損	985	804
固定資産売却損益(△は益)	74	△426
投資有価証券売却損益(△は益)	△24,852	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,190,960	973,371
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,065	△249,674
その他の流動資産の増減額(△は増加)	1,601	△5,480
仕入債務の増減額(△は減少)	△29,604	△203,991
その他	△67,847	△57,904
小計	1,243,632	731,963
利息及び配当金の受取額	2,829	5,194
有価証券利息の受取額	1,962	—
利息の支払額	△3,671	△1,901
法人税等の支払額	△273	△66,980
法人税等の還付額	27,220	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,271,699	668,274
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	85,000
有形固定資産の取得による支出	△26,405	△30,238
有形固定資産の売却による収入	15	560
無形固定資産の取得による支出	—	△4,212
投資有価証券の売却による収入	84,500	—
その他の収入	9,473	3,564
投資活動によるキャッシュ・フロー	67,582	54,672
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	30,000	30,000
短期借入金の返済による支出	△15,000	△30,000
長期借入金の返済による支出	△5,000	△5,000
リース債務の返済による支出	△10,034	△9,785
自己株式の取得による支出	△97	△44
配当金の支払額	△67,135	△100,751
財務活動によるキャッシュ・フロー	△67,267	△115,581
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,272,014	607,366
現金及び現金同等物の期首残高	1,627,303	2,669,086
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,899,317	3,276,452

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
圧縮機事業	3,015,178	29.5
繊維機械事業	41,334	△22.3
合計	3,056,512	28.4

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
圧縮機事業	4,300,263	29.2	3,502,996	32.8
繊維機械事業	57,005	67.4	33,551	152.0
合計	4,357,268	29.6	3,536,548	33.4

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
圧縮機事業	2,556,393	5.9
繊維機械事業	37,931	△33.4
合計	2,594,324	5.0

- (注) 1 主な輸出先、輸出販売高及び輸出販売高の総額に対する割合は次のとおりであります。
()内の数値は総販売実績に対する輸出販売高の割合であります。

輸出先	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
東アジア	503,659	77.5	898,965	79.2
東南アジア	55,783	8.6	160,814	14.2
中近東他	90,257	13.9	75,449	6.6
計	649,700 (26.3%)	100.0	1,135,228 (43.8%)	100.0

- 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。